



宝が池公園の概要 (2019年4月1日現在)
公園種別 ● 広域公園
設置年月日 ● 昭和39(1964)年5月5日
開園時間 ● 終日開園(一部施設を除く)
所在地 ● 京都市左京区上高野流田町8
面積 ● 78.2ha
入園料 ● 無料(一部施設を除く)

宝が池公園は、山形や草原、池や川など、昔からの地形や自然を利用しながら整備されたものです。
3月には桜の森や園路沿いでヤマザクラ、また林の中ではコバノミツバツツシ、ヤマツツシなどの花が次々と咲き、草木は新しい葉を茂らせ始めます。
6月には菖蒲園で多くの品種のハナショウワが咲きます。盛夏には林の中で、チョウ、セミ、カマシなど多くの昆虫が見られます。
9月になるとコナラやクヌギのどんぐりが落ち始めます。10月頃から、雑木林の落葉が始まり、11月には子ども達の楽園のモミヅナなどの紅葉が見られます。
見通しの良くなった林の中で、ツグミ、シヨウビタキなどの冬鳥が飛び交う姿が見られます。

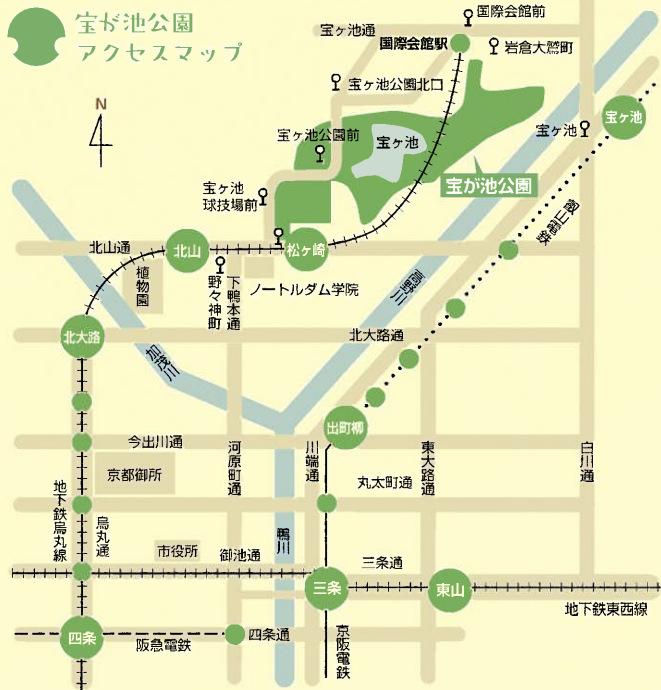
宝が池の四季

宝が池は、かんがい用の溜池として江戸時代中期に造られたもので、池周辺の山は、薪炭を採る里山として利用されてきました。
松ヶ崎付近は、古くから景勝の地として知られており、この地を公園化する計画が具体化するの、昭和17(1942)年に防空緑地として都市計画決定されたことに始まり、現在は、広域公園として計画決定され、利用されています。
昭和36(1961)年に、国立京都国際会館が公園北側に建設されることと決定してから、施設整備が大幅に進み、子どもの楽園、梅林園、菖蒲園、緑の森、桜の森、北園、運動施設、野鳥の森が設置されています。この度、松ヶ崎東山付近の山間園路(尾根筋)周辺を開園しました。

山間園路について

宝が池公園は、京都三山の一つである北山の最南端に位置する小丘陵地にあります。山間部の尾根筋は、地元の方々やトレッキングを楽しむ人々に親しまれており、山間部の尾根筋(尾根筋)で有名な松ヶ崎東山付近の山間園路(尾根筋)周辺の危険な木を除去し、注意喚起の看板を設置して平成31年4月に開園しました。
山間園路付近では、春のヤマザクラに始まり、コバノミツバツツシ、ヤマツツシ、モミヅナ等の花が美しく、夏の新緑、秋の紅葉、冬の雪化粧と、四季折々の美しい景色や野鳥等も楽しむことができます。
また、コバノミツバツツシのトンネル等を保全する取組として、山間園路に防鹿柵を設置している箇所もありますので、柵内外の植生の違いも観察していただけます。

宝が池
池の面積は約7.6ha、周囲約1.8kmには散策路が設けられており、春、夏には家族連れや登着た方々ににぎわいます。
静かな池の水と、周りを囲む低い山々や山々の景色は、さながら自然が作り出した日本式庭園といった美しさです。



問い合わせ先

施設整備・維持管理について

● 京都市建設局北部みどり管理事務所
〒615-0056 京都市右京区西院西貝川町31
TEL:075-882-7019

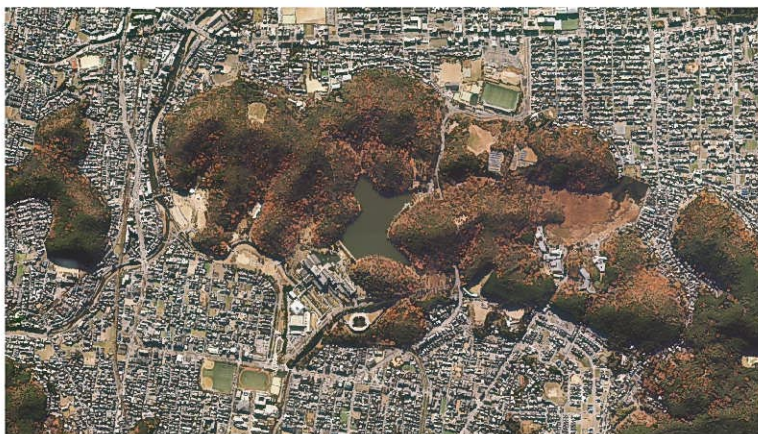
子どもの楽園について

● 子どもの楽園管理事務所(公財)京都市都市緑化協会
〒606-0037 京都市左京区上高野流田町8
TEL:075-781-3010

運動施設について

● 球技場等
テニスコート・フットサルコート
TEL:075-712-3300
球技場 TEL:075-701-6366
● 京都市こども体育館・少年スポーツ広場
TEL:075-723-5283

平成31年4月発行 京都市印刷物第313005号 この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ！



宝が池公園案内図



桜の森

桜の森では、4月になると白い花びらが人々の方にはわめれはから響り注ぎ、背後の山々のコバノミツバツツジが赤紫の花を咲かせ、公園を彩っています。



北園

北園は、2箇所の円形芝生広場、床に石張を施した広場、円形ステージ、遊歩広場などを中心に散策路と植栽帯を持つ洋風庭園的な公園施設を自由に楽しんでもらえる憩いの空間となっています。



トナリマカエ

野鳥の森

野鳥の森は、浅い小川を巡らし、果実のなる樹木を植えて野鳥を誘い寄せるとともに、その様子を観察施設から見る事ができます。



憩いの森

憩いの森は、お年寄りや身体に障害を持つ人々が散歩、遊戯、運動など誰もが手軽に楽しめる野外レクリエーションの場となっています。



梅林園

梅林園では、2月の末から3月にかけて梅の木が紅、白の可愛い花を咲かせて公園を彩っています。また、メキシコのアタラハ市との姉妹都市提携10周年を記念し、市選されたモニュメント「エスタンピータ」を設置しています。



松ヶ崎大黒天
祀(妙円寺)



新開園区域



子どもの楽園

子どもの楽園では、自然の中で子どもたちが体を動かして遊ぶように工夫されており、健康で明るい野外生活を楽しむように、遊戯施設などを設置しています。イタリアのフィレンツェ市との姉妹都市提携50周年を記念し、寄贈されたピノキオの銅像があります。



北山通

松ヶ崎